



One for All 女子サッカー一部報告 One for All

大阪第2代表で関西大会出場

今シーズン大商学園に3連敗

第22回全日本高等学校女子サッカー選手権関西大会出場をかけた平成25年度高体連総体秋季大会サッカー(女子の部)は、9月7日からJ-GREEN 堺他で行われ大阪桐蔭高校は準決勝で追手門学院高校を破り、昨年に引き続き関西大会出場を決めた。決勝は大商学園と対戦したが、後半終了間際に失点し準優勝、関西第2代表となった。

決勝は、拮抗した試合となった。後半ロスタイム、大商学園鎌田からのスルーパスに反応した藤根がDFラインの裏をうまくとり、プレスを受けながらもシュートしその1点で試合が決まった。今季大商学園との3戦目もまたもや終了間際に涙をのむこととなった。

◇準々決勝(9月7日、東住吉高校グラウンド)70分ゲーム()内は前半のスコア
大阪桐蔭 27-0(13-0)大阪国際滝井高校

【得失点】1、2分長谷川、3分呉屋、4分長谷川、5分持田、7分呉屋、8分船越、12、18分長谷川、28分藤井、30分持田、34、35分呉屋、40分永野、41分長谷川、42、45分田中楓子、46分金本、53分永野、56分田中ちひろ、58、60分長谷川、61分中山、65分オウンゴール、67分田中ちひろ、68分田中楓子、69分長谷川

◇準決勝(9月8日、舞洲人工芝グラウンド)70分ゲーム

大阪桐蔭 6-0(2-0)追手門学院高校

【得失点】10分長谷川、26分上西、36、38分呉屋、45分持田、59分和木

勝てば関西大会出場決定とプレッシャーのかかるゲームだった。立ち上がりからゴールを保持し続けたが、チャンスを生かせず2-0で前半終了した。後半、立ち上がりから連続得点し試合を優勢に進め6得点で勝利し関西大会出場を決めた。

◇決勝戦(10月3日、J-GREEN 堺 S8)

大阪桐蔭 0-0(0-1)大商学園

【得失点】70+1分失点(大商学園藤根)

試合開始後は、両者共にボールが落ち着かなかつた。前半にはフリーキックのチャンス、長谷川のドリブル突破から決定的なチャンスをつくるが得点には結びつかなかつた。大商学園に何度かチャンスを作られたもののしっかり無失点でおさえることができた。

後半は両者共にチャンスがありながらも得点には至らなかった。しかし、試合終了間際の後半ロスタイム、大商学園の素晴らしい連携から鎌田がスルーパス。そのパスにうまく藤根が反応し飛

び出し、守備者のプレスを受けながらのシュートはゴールに吸い込まれた。

今季大商学園に勝利がない中またもや敗れ、3試合連続0-1で3連敗という記録をつくってしまった。

皇后杯関西予選2回戦敗退

9月16日より大阪第3代表として出場した皇后杯関西予選が行われた。本大会に出場するとなでしこリーグのチームと戦うことができる。

大阪桐蔭は、大学の強豪校を苦しめたものの2回戦敗退で幕を閉じた。

◇1回戦(9月16日、神戸レディースフットボールパーク)80分ゲーム

大阪桐蔭 3-2(1-1)武庫川女子大学

【得失点】19分失点、22分呉屋、51分、60分持田、64分失点

初戦の相手は、武庫川女子大学。前半失点するもすぐに呉屋のゴールで追いつき試合を立て直す。後半、持田のPKを含めた2点を追加。失点するも残り時間を守りきり勝利した。

◇2回戦(9月21日、三木防災第2球技場)

大阪桐蔭 1-2(1-2)大阪体育大学

【得失点】4分持田、8分、38分失点

OGも数多くいる強豪大阪体育大学との試合。前半、持田の先制ゴールでリードしたが、フリーキックからのこぼれ球を石川に押し込まれ同点に追いつかれ、さらに前半終了間際にOGの佐藤に昨年に引き続きゴールを奪われリードを許した。後半ボールを保持していながらもいい状態でゴールに向かうことができず、前半のスコアのままで

試合終了となった。

これで目標の3つの大会のうち2つを終え、あとは選手権に力を尽くすのみとなった。

学校行事「芸術鑑賞会」

9月1日に2、3年生は、フェスティバルホールで「レ・ミゼラブル」を、1年生は「宝塚歌劇」を学校行事で鑑賞した。日頃行っているスポーツと離れたものだったが、人に感動を与える芸術を見て感じるものがあった。

保護者と楽しくBBQ大会

下半期スタートとなる9月1日保護者主催のBBQ大会が生駒山麓公園で行われた。激しい雷雨だったが全てのプログラムをこなすことができ、とてもいい交流となった。各学年からの出し物はそれぞれの思いが詰まったものとなっていた。これからも、桐蔭ファミリー一同力を合わせ戦っていきたい。

大阪国体3名選出

9月29日から10月3日まで東京で開催された国民体育大会に大阪国体として大阪桐蔭から3年生八雲、藤井、犬飼が選出された。大阪国体は2年ぶり2回目の優勝を目指して戦った。1回戦は、延長戦の末長野に2-1で勝利したが、2回戦で兵庫国体に0-1で敗れた。10月3日に行われた宮城VS兵庫の決勝戦は常盤木の現役、OGを揃えた宮城国体が1-0で勝利し優勝した。

2年生森田U-16日本代表

GK森田がU-16日本女子代表に選ばれた。来年4月コスタリカで行われる世界大会出場を向け10月中国で行われたアジア予選に挑んだ。決勝で朝鮮民主主義人民共和国を破り優勝を果たし世界大会出場を決めた。